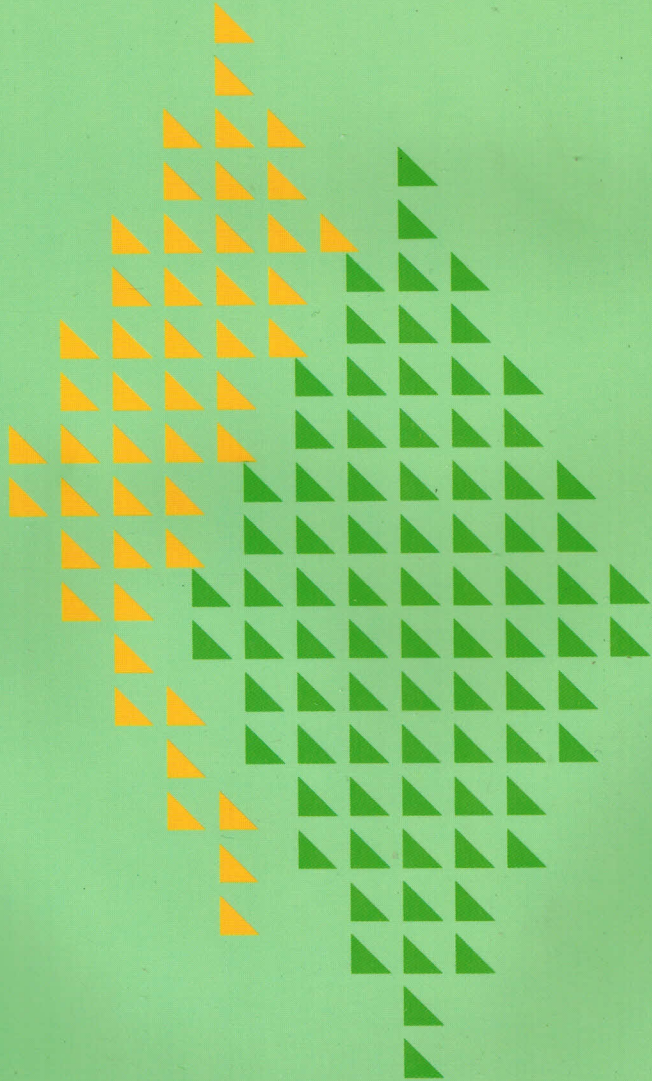


NECパーソナルコンピュータ  
PC-9800シリーズ

**NEC**

# PC-9801FX

ガイドブック



MS および MS-DOS は米国マイクロソフト社の登録商標です。  
Windows は米国マイクロソフト社の商標です。  
i386 は米国インテル社の商標です。

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店または最寄りの Bit-INN へご連絡ください。
- (4)当社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。

© NEC Corporation 1992

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

——輸出する際の注意事項——

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。





# PC-9801FX ガイドブック

#### 専用回線など

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づき技術基準適合認定を受けています。この認定は次のようなシステムで受けていますので、これらのオプションを含めて回線に接続する時に、認定番号を記入して申請してください。なお、専用回線等との接続は、一般のお客さまには行えませんので、必ず販売店にご相談ください。

#### (1)電話回線

- a) PC-9863, PC-9863N, PC-9863L, PC-9865  
PC-9801-57, PC-9801-57L  
上記モデムボード使用 : S92-3041-0
  - b) その他のモデムボード使用 : モデムボードの認定番号を記入してください。
- (2)専用回線（帯域品目） : L92-N094-0
  - (3)専用回線（符号品目） : M92-N074-0
  - (4)専用回線（高速符号品目） : N92-N042-0
  - (5) ISDN 回線 : T92-5046-0
  - (6)ファクシミリ回線 : F92-N047-0

#### 電波障害自主規制について

この装置は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等、電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機等に近接してご使用になりますと、受信障害の原因となることがあります。

#### 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。  
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

# PC-9801FX

## はじめに

このたびは、32ビットパーソナルコンピュータ PC-9801FX をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

PC-9801FX は、ご好評いただいております PC-9800シリーズに 32 ビットCPU i386™SXを搭載し、さらにオプション機器の拡張に新しい発想を加えた高水準を誇るパーソナルコンピュータです。PC-9800 シリーズのために作られた数多くの優れたソフトウェア資産をそのまま受け継ぎ、さらに 32 ビットの高速処理パフォーマンスを実現しています。

このガイドブックは、初めて PC-9801FX をお使いになる方のために、基本的な取り扱い方法や操作手順、注意事項などを説明したものです。

PC-9801FX の機能をフルに使いこなしていただくために、本書が皆様のお役に立てば幸いです。

# 目次

	はじめに……………	3
	目次……………	4
	ガイドブックの読み方……………	5
<b>1</b>	<b>PC-9801FX の特長……………</b>	<b>6</b>
<b>2</b>	<b>PC-9801FX のシステム構成……………</b>	<b>8</b>
<b>3</b>	<b>箱の中身の確認……………</b>	<b>10</b>
<b>4</b>	<b>設置と取り扱い上の注意……………</b>	<b>12</b>
<b>5</b>	<b>各部の名称と役割……………</b>	<b>14</b>
<b>6</b>	<b>周辺機器の接続……………</b>	<b>18</b>
	A. アース線の接続……………	19
	B. キーボードの接続……………	20
	C. マウスの接続……………	20
	D. ディスプレイの接続……………	21
	E. プリンタの接続……………	23
	F. 外部オーディオ機器の接続……………	23
	G. 終端BOXの取り付け……………	24
	H. 本体電源ケーブルの接続……………	24
<b>7</b>	<b>電源の ON/OFF……………</b>	<b>25</b>
<b>8</b>	<b>フロッピーディスクについて……………</b>	<b>28</b>
<b>9</b>	<b>フロッピーディスクの入れ方/出し方……………</b>	<b>31</b>
<b>10</b>	<b>ソフトウェアの起動と終了のしかた……………</b>	<b>33</b>
<b>11</b>	<b>キーボードについて……………</b>	<b>35</b>
	キーの構成……………	35
	キーの名称と主な機能（濃いグレーのキー）……………	36
	文字入力のしかた（薄いグレーのキー）……………	38
	キーボードの使い方……………	39
<b>12</b>	<b>ディップスイッチについて……………</b>	<b>42</b>
	ハードウェアディップスイッチ……………	42
	ソフトウェアディップスイッチ……………	43
<b>13</b>	<b>メモリスイッチについて……………</b>	<b>46</b>
<b>14</b>	<b>アプリケーションソフトのいろいろ……………</b>	<b>47</b>
<b>15</b>	<b>オプション機能について……………</b>	<b>49</b>
	入力装置のいろいろ……………	49
	プリンタの種類……………	50
<b>16</b>	<b>増設RAMボードについて……………</b>	<b>51</b>





17	3.5インチ固定ディスクドライブの取り付け……………54
18	SCSI インタフェースボードの取り付け……………55
19	ファイルスロットについて……………58
20	数値データプロセッサの取り付け……………60
21	SCSI インタフェース対応機器接続時の注意……………61
22	I/O 拡張ユニット 接続時の注意……………64
23	スーパーインポーズボード接続時の注意……………65
24	割り込みレベル・DMA チャンネル・ROM アドレス空間について……………66
付	アフターケアについて……………68
	故障かな?と思ったときは……………70
	索引……………74
録	PC-9801FX 機能仕様……………76

## ガイドブックの読み方

この「PC-9801FX ガイドブック」は、機器の概要から基本的な操作方法、さらにオプション機器の拡張へという構成で記述しています。初めてパーソナルコンピュータをご使用になる方も、順番どおりに読めば、コンピュータの使い方が理解できるような構成になっています。

### ガイドブックの色分けについて

このガイドブックは、説明の段階によって4種類の色に分けられています。

- 1～5  は作業を始める前に必要な準備と知識
- 6～13  は基本的な操作について
- 14～24  はアプリケーションソフトの紹介と周辺機器の拡張
- 付 録 

### 初めてパーソナルコンピュータを利用される方は

初めから最後まで順番にお読みください。

### すでにパーソナルコンピュータの経験がある方も

PC-9801FX は、オプション機器の接続など、従来のPC-9800シリーズとは異なる部分があるので、ぜひご一読ください。

なお、PC-9801FX を使用中にトラブルが起こった場合は、付録の「故障かな?と思ったときは」をご覧ください。

# 1 PC-9801FX の特長

## 1 高速CPU i386™ SX搭載

クロック周波数12MHzの32ビットCPU i386™ SXを搭載し、大幅な高速化を実現しました(386 SX-10MHz相当/V30-8MHz相当モードあり。)

## 2 本体前面到新設計ファイルスロットを装備

本体前面にあるファイルスロットに、新しく提供されるファイルスロット用オプション機器（フロッピーディスク、固定ディスク、光ディスク、CD-ROM、メモ리카ードリーダー/ライタなど）を増設でき、さらに幅広い機器構成が可能になります。

## 3 オプション機器の増設もより簡単に

従来では本体ネジを外してカバーを取り外すなど、面倒な操作が必要だった増設RAMボードや数値データプロセッサ、固定ディスク装置などの増設が、前面パネルの取り外しや背面での簡単な操作だけで行えるようになりました。

PC-9801FX は、新しい設計思想や高速CPUの採用による高い操作性、より幅広い拡張性など、これまでのパーソナル



コンピュータを越える新しい可能性を持ったコンピュータです。



## 4 | 充実したグラフィック機能

グラフィック用 VRAM には、デュアルポート RAM を 256K バイト標準装備。4096色中の16色を 640×400ドットの高解像度2画面に表示可能。専用 LSI の搭載により高速・鮮明なグラフィック表示を実現しています

### サウンド機能を標準装備

FM 音源3和音、SSG 音源3和音を発生できる LSI を標準装備。迫力あるサウンドが楽しめます。

### 大容量メモリを実装

1.6M バイトのユーザーズメモリを標準装備。さらに、オプションの増設メモリボードを搭載することで、14.6M バイトまで実装可能。あらゆる高性能アプリケーションソフトに対応することができます。

## 2 PC-9801FX のシステム構成

PC-9801FX 本体とキーボードを合わせて、基本システムと呼んでいます。この基本システムに、ディスプレイ、プリンタ、マウスなどの基本オプション（別売）を接続したものが、PC-9801FX の標準的なシステムです。

PC-9801FX には次のモデルがあります。

フロppyディスク タイプ	5 インチタイプ 2 台内蔵	3.5 インチタイプ 2 台内蔵
内蔵 固定ディスク		
なし (固定ディスク内蔵可能)	PC-9801FX2	PC-9801FX/U2
40MB内蔵	PC-9801FX5	PC-9801FX/U5



PC-9801FX5、/U5は SCSI インタフェースを内蔵しており、本体背面に SCSI インタフェース対応の周辺機器を接続するためのコネクタが付いています。



5インチフロッピーディスクタイプのシステム例

PC-9801FX2,5+ディスプレイ(N5913R)+プリンタ(PC-PR201/60A)+マウス(PC-9872R)(キーボードは本体付属)

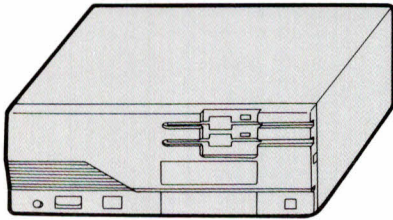


3.5インチフロッピーディスクタイプのシステム例

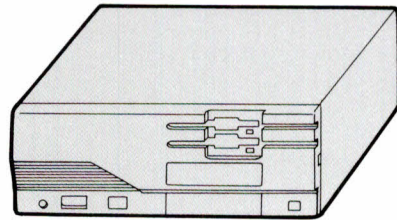
PC-9801FX/U2,5+ディスプレイ(N5913R)+プリンタ(PC-PR201/60A)+マウス(PC-9872R)(キーボードは本体付属)

### 3 箱の中身の確認

梱包箱を開けたら、まず、添付品が揃っているかどうか、このイラストやグリーティングカードを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い求めの販売店にお申し出ください。



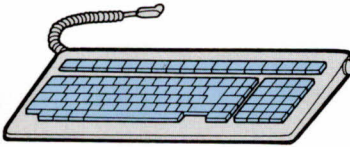
(5インチフロッピーディスクタイプ)



(3.5インチフロッピーディスクタイプ)

①本体 PC-9801FX 2.5

または PC-9801FX/U2, U5



②キーボード



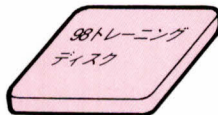
③電源ケーブル



④アース線



⑤ケーブルラベル



⑥98トレーニングディスク

本機の概要を対話形式で学習できるトレーニングディスクです。コンピュータ用語解説も入っています。(フロッピーディスクが1枚はっています)



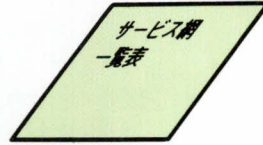
⑦ガイドブック

今ご覧になっているマニュアルです。



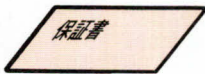
⑧ N<sub>88</sub>-BASIC(86)ガイド

本体内蔵の N<sub>88</sub>-BASIC(86)を使用する際にご覧ください。



⑨ サービス網一覧表

装置が故障した際の連絡先の一覧です。ガイドブックの巻末にはさまっています。



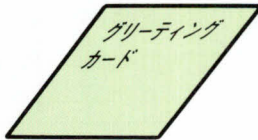
⑩ 保証書

箱の上ブタに貼付されています。紛失しないよう大切に保管してください。



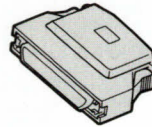
⑪ お客様登録カード

NEC からお客様へのお知らせの際に必要なカードです。かならずご記入の上、ご返送ください。



⑫ グリーティングカード

同梱されている品物の確認用リストです。



⑬ 終端 BOX

PC-9801FX5、/U5に付属しています。必ず本体背面の SCSI コネクタに取り付けてください (P.24参照)。SCSI インタフェース対応機器の接続については P.61をご覧ください。

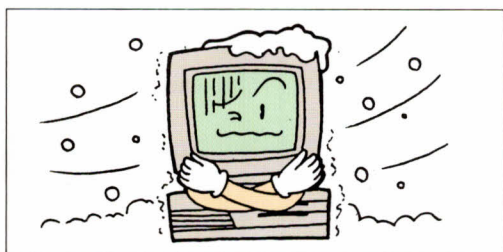


ディスクの取り扱いが可能な N<sub>88</sub>-日本語 BASIC(86) (Ver6.2) は別売です。

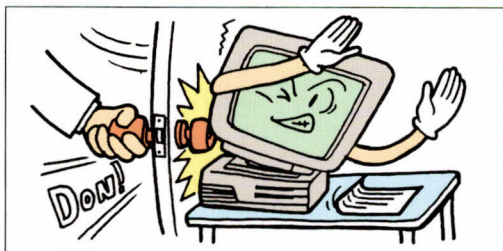
## 4 設置と取り扱い上の注意

パーソナルコンピュータは、精密につくられたデリケートな機械です。いつでも快適な状態で使用できるよう、次の点に注意して設置場所を決めてご使用ください。

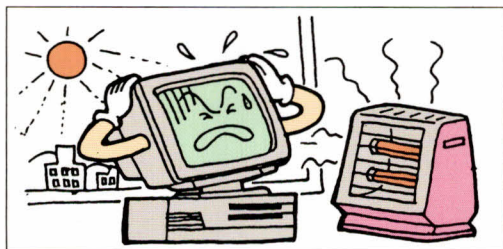
- 極端に高温・低温での使用や保管は避けてください。



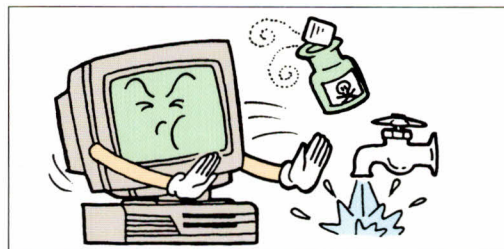
- 衝撃や振動の加わる場所は避けてください。



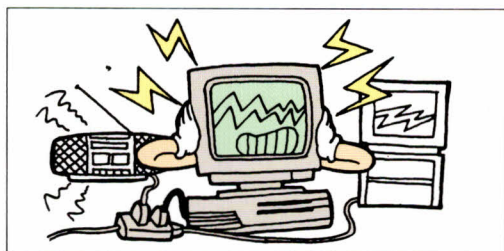
- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。また、湿度の高い場所やホコリの多い場所は避けてください。



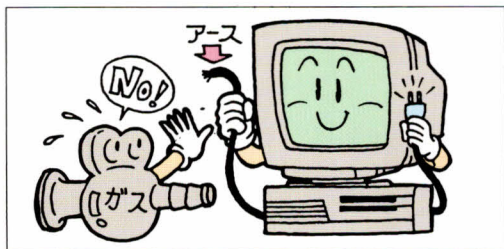
- 水がかかったり、薬品に触れるおそれのある場所は避けてください。



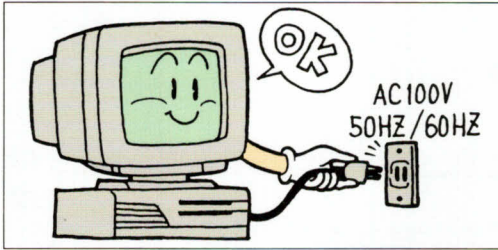
- ラジオやテレビ、スピーカなど、強い磁気を生ずる機器の近くでは使用しないでください。また、本機をラジオやテレビの近くで使用したり、同じコンセントを使用すると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。その場合は、本機をラジオやテレビから離したり、別のコンセントを使用してください。



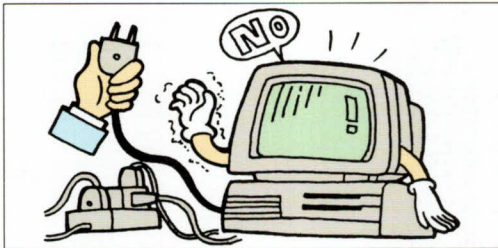
- アース線は絶対ガス管にはつながないでください。また、アース線を接続したり外したりするときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。



- 電源は AC100V (50Hz または60Hz) を使用してください。



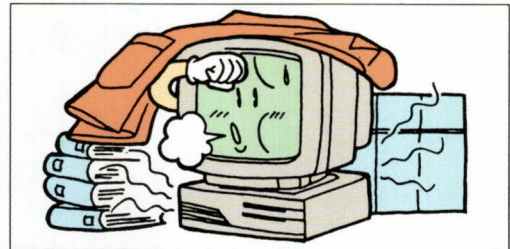
- 電源は直接コンセントからとるようにし、タコ足配線は避けてください。また、本機の使用中に誤って電源コードを抜いたりすると、作業中の内容がすべて消えてしまうので、コンセントの位置や配線には十分注意してください。



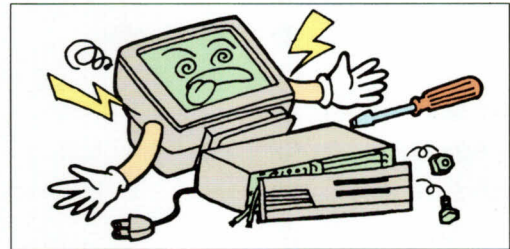
- 本機内部に、水などの液体や金属類が入った状態で使用すると危険です。異物が入らないように注意してください。



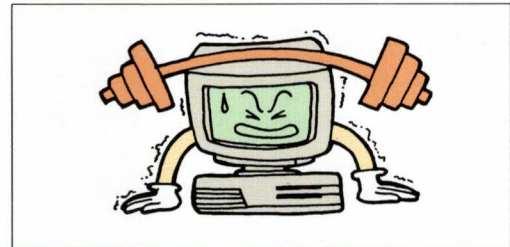
- 本機は内部温度の上昇を防ぐために、ケースに通風孔があります。通風孔をふさいだり、金属類を差し込んだりしないようにしてください。



- 本機は解体した状態で使用したり保管することは避けてください。故障や感電の原因になります。

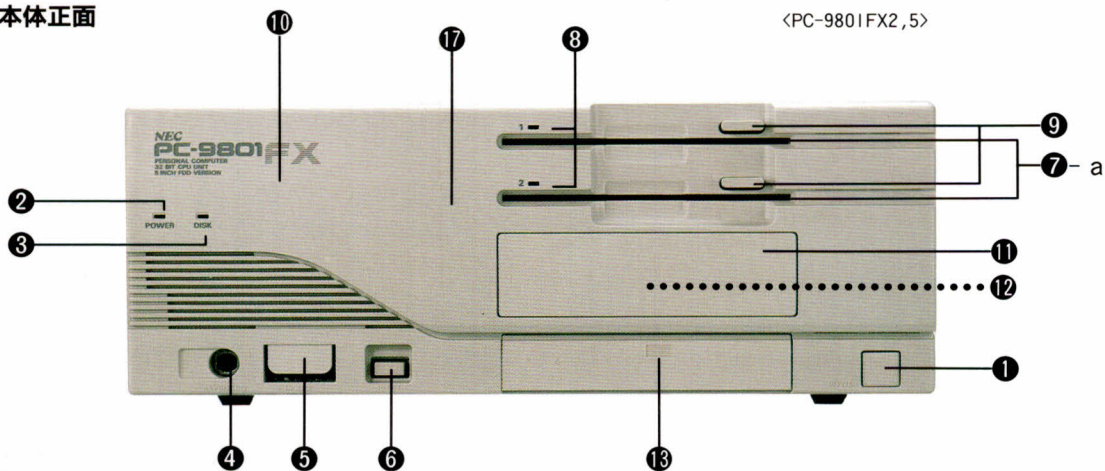


- 本機には15インチ以下のディスプレイを置くことができますが、それ以上重いものを置いたまま使用したり保管することは避けてください。



# 5 各部の名称と役割

本体正面



## ①電源スイッチ

本体の電源を ON/OFF するスイッチです。1 回押すと電源 ON（電源表示用 LED が点灯）、もう 1 回押すと電源が OFF になります。



電源スイッチの ON/OFF の操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも 5 秒以上の間隔をあけてください。

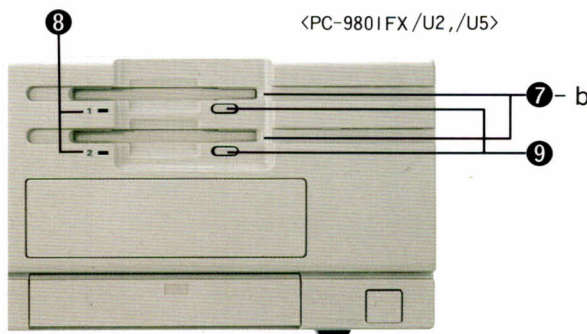
## ②電源表示用 LED

電源の ON/OFF の状態を表示するランプです。電源が ON になると、下表の色で点灯します。

表示色	動作スピード
緑色	386SX-12MHz
オレンジ色	386SX-10MHz相当
赤色	V30-8MHz相当

## ③3.5インチ固定ディスクドライブアクセス表示用 LED

3.5インチ固定ディスクドライブの動作中に赤く点灯します。



・点灯中は電源スイッチやリセットスイッチを押さないでください。固定ディスクの内容が壊れてしまう場合があります。  
・PC-9801FX2,/U2は3.5インチ固定ディスクドライブを内蔵していないので、3.5インチ固定ディスクドライブアクセス表示用 LED は点灯しません。ただし、増設用3.5インチ固定ディスクドライブ、および SCSI インタフェースボード (PC-9801FA-02) を取り付ければ、動作中に点灯します。

## ④キーボード用コネクタ

キーボードを接続するためのコネクタです。

## ⑤マウス用コネクタ

マウスを接続するためのコネクタです。

## ⑥リセットスイッチ

本体の電源をOFFにしないで、初めて電源をONにした直後の状態(初期状態)に戻すためのスイッチです。



リセットスイッチは、プログラムを止められなくなったときや、うまくプログラムが立ち上がらないときなどに使用します。リセットすると本体は初期状態に戻ってしまうので、慎重に使用してください。

## ⑦-a 5インチフロッピーディスク装置

5インチサイズのフロッピーディスクを差し込み、プログラムの読み込みやデータの書き込みを行うための装置です。

## ⑦-b 3.5インチフロッピーディスク装置

3.5インチサイズのフロッピーディスクを差し込み、プログラムの読み込みやデータの書き込みを行うための装置です。

## ⑧フロッピーディスク装置アクセス表示用LED

⑦のフロッピーディスクの作動中に赤く点灯します。



点灯中は電源をOFFにしたり、リセットスイッチを押したり、フロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスクの内容が壊れる場合があります。

## ⑨イジェクトボタン

フロッピーディスクを、フロッピーディスク装置に出し入れするときに使います。

## ⑩内蔵スピーカ

5オクターブの音階を出力します。

## ⑪ファイルスロットカバー

ファイルスロットを使用する場合は、フロントマスクを外してこのカバーを取り外します。

## ⑫ファイルスロット

本機の機能を強化したり拡張したりするためのオプション機器を取り付けるスロットです。詳しくはP.58をご覧ください。

## ⑬ディップスイッチケース

このカバー上部を押すとカバーが手前に開きます。



## ⑭クロック切り替えスイッチ

本機の動作速度を切り替えるスイッチです。スイッチの位置によって、下表のように設定できます。

クロック切り替えスイッチ	動作スピード
H (High)	386SX-12MHz
M (Middle)	386SX-10MHz相当
L (Low)	V30-8MHz相当



クロック切り替えスイッチの設定は、リセットスイッチを押すか、電源をONにしたとき有効になります。

## ⑮内蔵スピーカボリューム

内蔵スピーカの音量を調節するつまみです。

## ⑯ハードウェアディップスイッチ

コンピュータの状態を設定するスイッチです。



ディップスイッチは、工場出荷時にあらかじめ設定されています。特に必要ない場合はこのままにしておきます。機能や設定方法については、P.42をご覧ください。

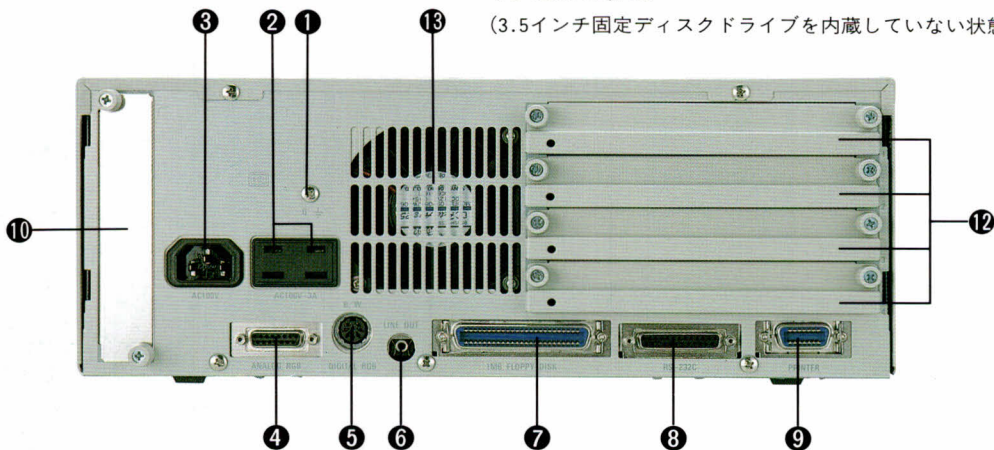
## ⑰フロントマスク

専用増設メモリ、数値データプロセッサ、内蔵用3.5インチ固定ディスクドライブ、ファイルスロット用オプション機器を取り付けるときに外します。

## 本体背面

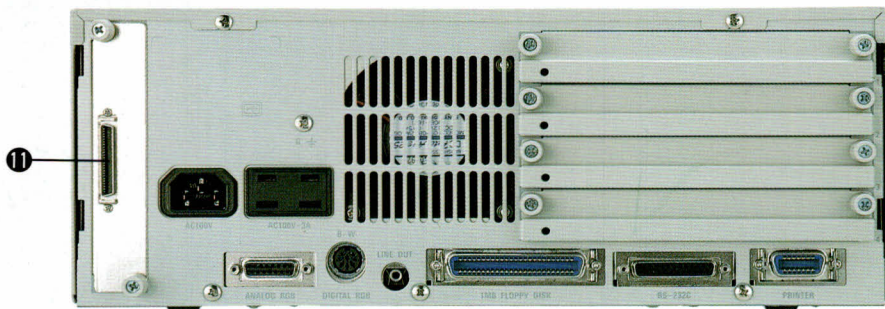
<PC-9801FX2,/U2>

(3.5インチ固定ディスクドライブを内蔵していない状態)



<PC-9801FX5,/U5>

(3.5インチ固定ディスクドライブを内蔵している状態)



### ①アース端子

アース線を接続するための端子です。



アース線の接続に関しては、P.19を参照してください。

### ② AC 電源コネクタ (出力)

ディスプレイやプリンタなどの周辺機器のために使用できる2個のAC電源コネクタです。

このコネクタは、本体の電源スイッチと連動します。



AC電源コネクタに接続できる装置は、消費電力が合計300W以下のものに限られます。

### ③電源コネクタ (入力)

付属の電源ケーブルを接続し、家庭用ACコンセントからパソコン本体に電源を供給するためのコネクタです。



本体付属の電源ケーブルは、コンセント側が普通の2ピン、本体側が特殊な3ピンになっています。

### ④アナログRGB出力コネクタ

アナログRGB入力対応のディスプレイを接続するためのコネクタです。

## ⑤ デジタル RGB 出力コネクタ

モノクロまたはデジタル RGB 入力対応のディスプレイを接続するためのコネクタです。



- ・専用高解像度タイプ以外のカラーディスプレイを接続するときは、ハードウェアディップスイッチの設定を変える必要があります。
- ・モノクロ CRT ディスプレイを接続するときも、このコネクタを使用します。

## ⑥ オーディオ出力端子

外部のオーディオ機器を接続するためのコネクタです。オーディオ機器を接続すると、迫力のあふれるサウンドが楽しめます。

## ⑦ 増設フロッピーディスク装置用コネクタ

1M バイトの記憶容量をもつフロッピーディスク装置を増設するためのコネクタです。

## ⑧ RS-232C コネクタ

通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続するためのコネクタです。

## ⑨ プリンタ用コネクタ

セントロニクス社仕様準拠のプリンタを接続するためのコネクタです。



- セントロニクス社仕様は、論理的かつ電氣的に細部にわたって規定されたものではないため、プリンタによっては動作しないものがあります。ご注意ください。

## ⑩ SCSI インタフェーススロット

PC-9801FX2、/U2に増設用3.5インチ固定ディスクドライブや SCSI インタフェース対応のファイルスロット用オプション機器を取り付ける場合に、専用 SCSI インタフェースボード (PC-9801 FA-02)を取り付けるスロットです。

## ⑪ SCSI コネクタ

SCSI インタフェース対応の周辺機器を接続するためのコネクタです。



- ・ SCSI コネクタに SCSI インタフェース対応の周辺機器を接続しない場合は、終端 BOX を取り付けてください。(P.24参照)
- ・⑪は3.5インチ固定ディスクドライブを内蔵している場合だけに存在します。

## ⑫ 拡張用スロット

本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボード (別売) を挿入するためのスロットです。4 スロット用意されています。左右のネジ2つを外すと、1 スロット分のカバーが外れます。

## ⑬ 空冷用ファン

内部の熱を外部に逃がすためのファンです。壁などでふさがないように注意してください。

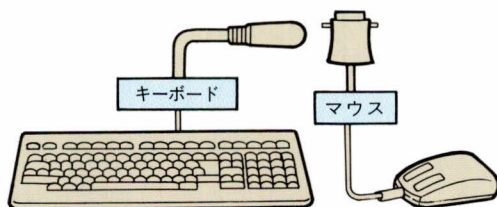
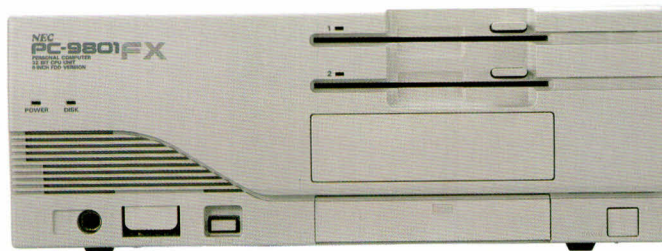
## 6 周辺機器の接続

周辺機器を接続するときには、次のことに注意してください。

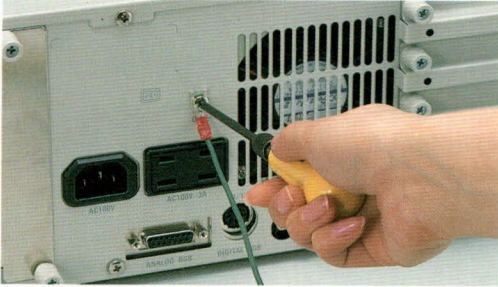
- 必ず本体の電源を OFF にしてから接続してください。電源はすべての接続が終わるまで絶対に ON にしないでください。
- アース線の接続は、必ず本体や周辺機器の電源ケーブルを外した状態で行ってください。
- ケーブルのコネクタは無理に押し込まないでください。



各コネクタは、正しい向き、正しい角度に差し込まないと、接続できません。正しく差し込んだ場合は、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。もしうまく差し込めない場合は、無理に押し込まずに、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。



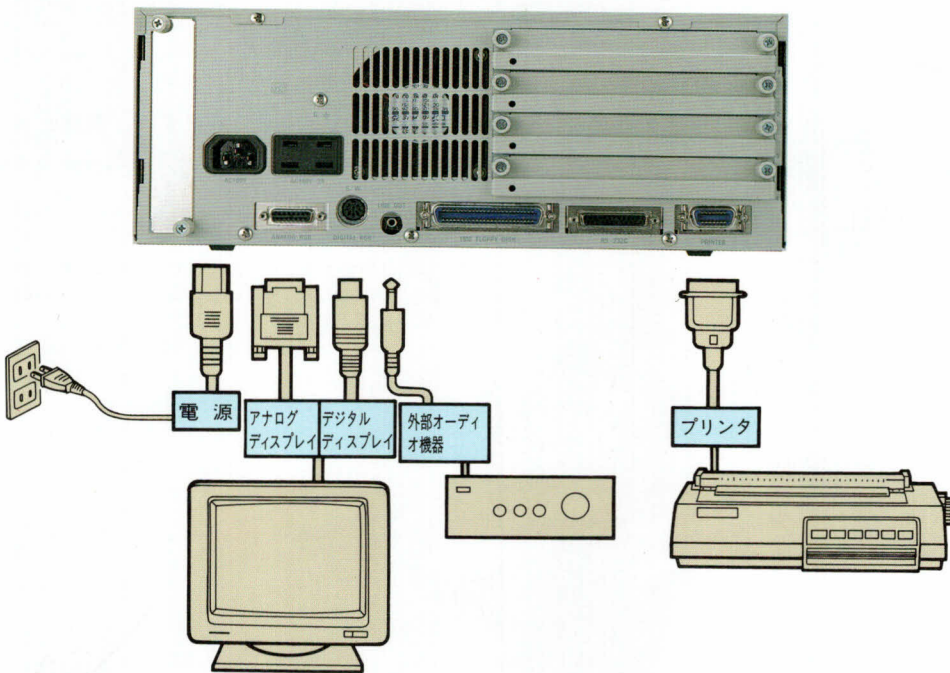
## A. アース線の接続



- 本機を安全に使用するために、添付のアース線で本体のアース端子とコンセントのアース端子を接続してください。



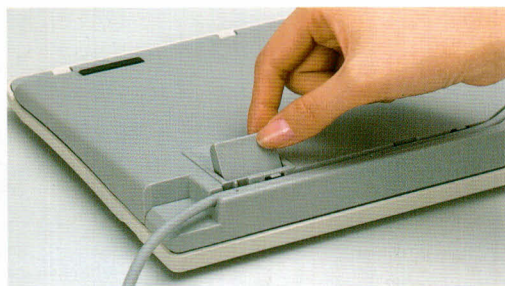
- ・アース線は絶対ガス管にはつながないでください。
- ・アース線の接続や取り外しは、本体の電源ケーブルを接続する前に行ってください（周辺機器を使用している場合は、周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください）。



## B. キーボードの接続



- キーボードのケーブルプラグを、矢印マークを上に向けて、本体正面の KEYBOARD と書かれたコネクタに差し込みます。



- キーボードの裏のツメを立てると、キーボードを置いたときの角度を少し変えることができます。

## C. マウスの接続



- マウスのケーブルコネクタを、本体正面の MOUSE と書かれたコネクタにしっかりと差し込みます。



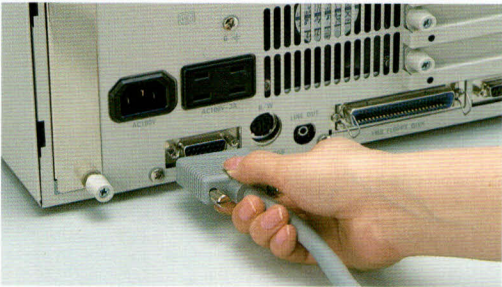
- ・軽く差し込んだだけでは外れる心配があるので、手ごたえのあるまでしっかり差し込んでください。
- ・インタフェースボードとセットになっているマウスでも、インタフェースボードを使わずに同じように接続できます。

## D. ディスプレイの接続

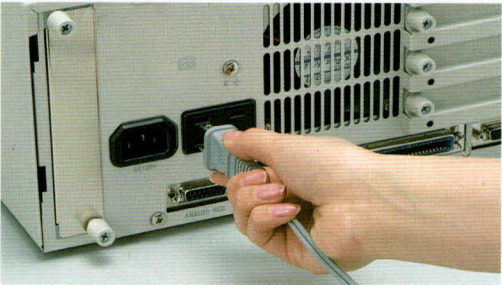
### ●アナログRGB入力対応ディスプレイの場合



- ①ディスプレイ用ケーブルの片方のコネクタを、ディスプレイ背面のコネクタに差し込み、ネジを回して固定します。



- ②①と同様にして、ケーブルのもう片方のコネクタを本体背面にある ANALOG RGB と書かれたコネクタに接続します。



- ③ディスプレイの電源ケーブルプラグを、本体背面にある AC 電源コネクタ（出力）に差し込みます。

このコネクタを使うと、ディスプレイの電源スイッチを ON のままにしておけば、本体の電源スイッチの ON/OFF に連動してディスプレイの電源も ON/OFF するので便利です。

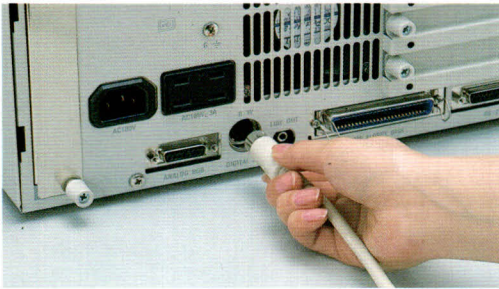
●モノクロディスプレイまたはデジタル RGB  
入力対応ディスプレイの場合

①ディスプレイとディスプレイ側のケーブルコネクタを接続します。

②本体側のケーブルコネクタを、本体背面の DIGITAL RGB と書かれたコネクタに差し込みます。

③ディスプレイの電源ケーブルプラグを、本体背面にある AC 電源コネクタ（出力）に差し込みます。

このコネクタを使うと、ディスプレイの電源スイッチを ON のままにしておけば、本体の電源スイッチの ON/OFF に連動してディスプレイの電源も ON/OFF するので便利です。



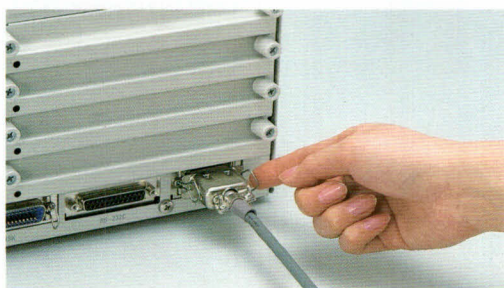
専用高解像度(640×400ドット)以外の CRT  
ディスプレイを接続する場合は、ハードウ  
ェアディップスイッチの設定を変更しなければなり  
ません。設定方法は、P.42をご覧ください。



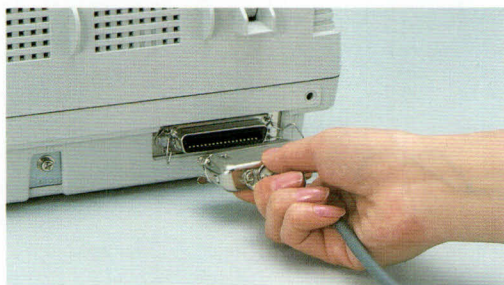
## E. プリンタの接続



①プリンタケーブルの小さい方のケーブルコネクタを、本体背面の PRINTER と書かれたコネクタに差し込み、ストッパでとめます。



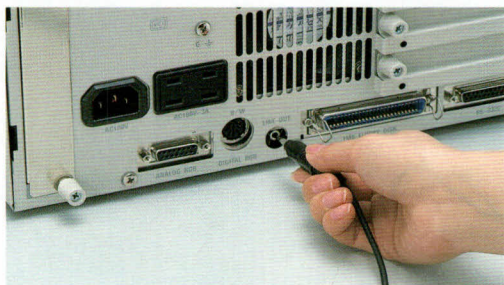
②①と同様にして、大きい方のケーブルコネクタをプリンタのコネクタに接続します。



③プリンタの電源ケーブルプラグを、本体背面にある AC 電源コネクタ (出力) に差し込みます。このコネクタを使うと、プリンタの電源スイッチの ON/OFF に連動してプリンタの電源も ON/OFF します。



- ・本体背面の AC 電源コネクタには、ページプリンタなど、消費電力の合計が300W以上の機器は接続できません。
- ・PC-PR201系以外のプリンタを使用するには、本機のメモリスイッチを変更しなければならない場合があります。メモリスイッチの設定については、P.46とプリンタに添付されているマニュアルをご覧ください。



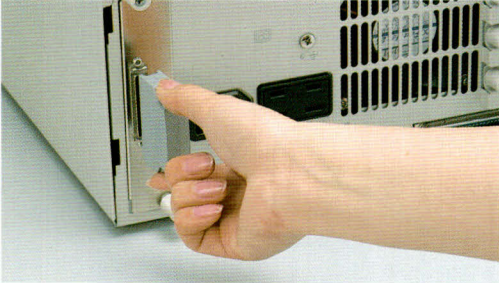
## F. 外部オーディオ機器の接続

●オーディオケーブルのミニプラグを本体背面の LINE OUT と書かれたミニジャックに差し込みます。



- ・ミニプラグ付きのオーディオケーブルは、本体には添付されていないので、オーディオショップなどでお求めください。
- ・ミニプラグが差し込まれていると、サウンドは本体内蔵スピーカからは出ません。ただし、BEEP音だけは内蔵スピーカから出ます。

## G. 終端 BOX の取り付け (PC-9801FX5, /U5のみ)

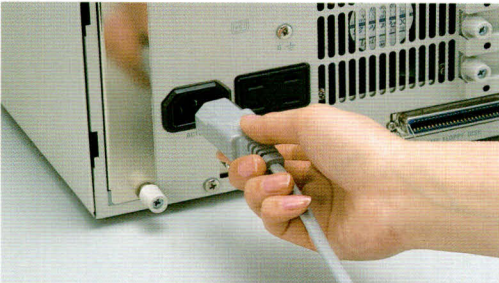


- PC-9801FX5, /U5には終端 BOX が添付されています。
- PC-9801FX5, /U5背面の SCSI コネクタに、必ず終端 BOX を取り付けてください。
- 終端 BOX は、クランパを指で押さえながら、SCSI コネクタにしっかり差し込みます。



SCSI インタフェース対応機器を接続する場合は、最後の機器の SCSI コネクタに終端 BOX を取り付けてください (P.61参照)。

## H. 本体電源ケーブルの接続



- ①電源ケーブルのコネクタを、本体背面の電源コネクタ (入力) に差し込みます。
- ②電源ケーブルのプラグを、AC コンセントに差し込みます。

# 7 電源の ON/OFF

## ▼電源を ON にする前に

PC-9801FX2, 5 内蔵の 5 インチフロッピーディスク装置には、運搬時にイジェクトボタンが破損しないように、保護シートが入っています。電源を ON にする前には、必ずこの保護シートを取り出してください。保護シートが入ったまま電源を ON にすると、フロッピーディスク装置を傷め

る原因となります。

なお、PC-9801FX/U2, /U5 内蔵の 3.5 インチフロッピーディスク装置ではフロッピーディスクが入っていないときはイジェクトボタンが押された状態であるため、保護シートは入っていません。

## 保護シートの取り出し方

### ● PC-9801FX2, 5 のみ (5 インチフロッピーディスク装置)

- ①フロッピーディスク装置 1 のイジェクトボタンを押します。
- ②保護シートが少し出てくるので、手前に引いて取り出します。
- ③フロッピーディスク装置 2 の保護シートも同様に取り出します。



この保護シートは大切に保管し、本体を運搬する場合には、必ずフロッピーディスク装置に入れるようにしてください。



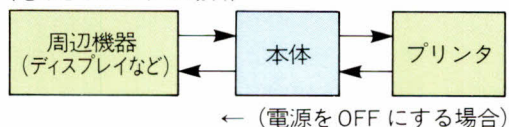
## ▼電源を ON にする順序

周辺機器の電源ケーブルを本体背面の AC 電源コネクタ以外 (AC コンセントなど) に接続している場合は、図のように「周辺機器の電源」→「本体の電源」→「プリンタの電源」の順で電源を ON にしてください。また、電源を OFF にするときにはその逆の順にしてください。

周辺機器の電源ケーブルを本体背面の AC 電源コネクタ (出力) に接続している場合は、あらか

じめ周辺機器の電源スイッチを ON にしておけば、本体の電源を ON/OFF するだけで、周辺機器の電源も連動して ON/OFF します。

(電源を ON にする場合) →



## 電源の ON

ここでは周辺機器の電源ケーブルを、本体背面の AC 電源コネクタに接続しているとして説明します。

- ①本体の電源スイッチを押します。

電源表示用 LED が点灯し、「ピポッ」と音がしたら電源が ON になったことになります。

もし、電源表示用 LED が点灯しなかったり、音がなかった場合は、電源ケーブルの接続をもう一度チェックしてください。

- ②電源を ON にすると、PC-9801FX は自分自身に異常がないかをチェックします。異常がなければディスプレイに

MEMORY 640KB+1024KB OK

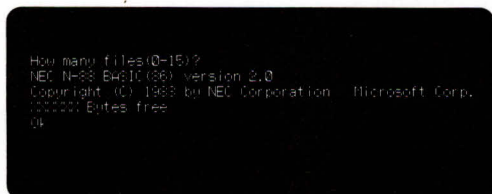
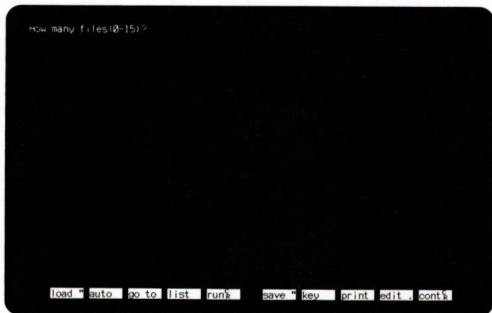
と表示したあと、

How many files (0-15) ?

と表示します。ここでリターンキーを押すと、左下のようにメッセージが表示され、N<sub>88</sub>-BASIC(86)が起動します。

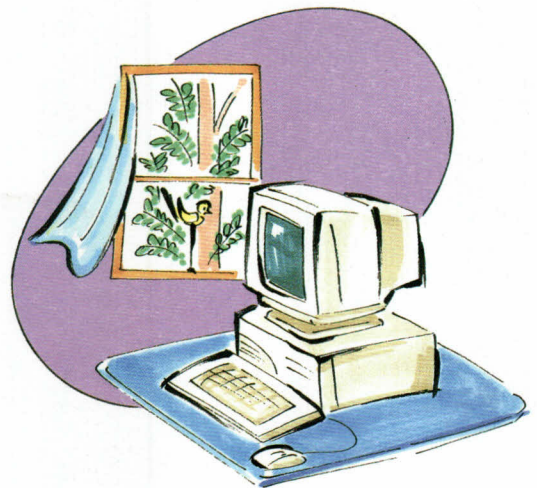
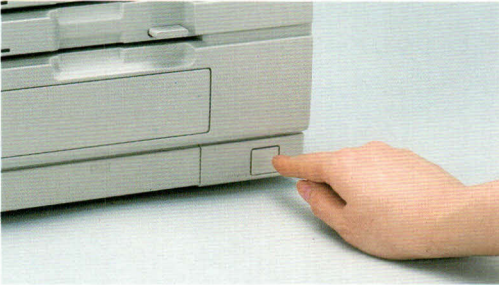


各周辺機器の電源表示用 LED も点灯していることを確認してください。もし、LED が点灯していない場合は、周辺機器が確実に接続されているかチェックしてください。



## 電源の OFF

本体の電源スイッチを押すと、本体や周辺機器の電源表示用 LED が消え、電源が OFF になります。



# 8 フロッピーディスクについて

パーソナルコンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに書き込んで保存することができます。つまりフロッピーディスクはデータを書き込むためのノートのようなものです。

## フロッピーディスクの種類

PC-9801FX の内蔵フロッピーディスク装置で  
使用できるフロッピーディスクには、大きさやデ  
ータの記憶量によって、次の種類があります。

### 大きさの違い

- ・ 5 インチサイズフロッピーディスク  
(PC-9801FX2,5で使用します)
- ・ 3.5 インチサイズフロッピーディスク  
(PC-9801FX/U2,/U5で使用します)



- ・PC-9801FX2, 5 では、本体前面のファイ  
ルスロットに3.5インチフロッピーディ  
スクドライブを取り付ければ3.5インチサイズ (2  
HD タイプ) のフロッピーディスクを使用するこ  
とができます。
- ・本体背面の増設フロッピーディスク装置用コネク  
タに 8 インチフロッピーディスク装置を接続すれ  
ば 8 インチサイズのフロッピーディスクを使うこ  
ともできます。

### 記憶容量の違い

5 インチと3.5インチサイズのどちらにも、次の  
タイプがあります。

- ・ 2HD タイプ (両面高密度倍トラックタイプ)  
1M バイトの記憶容量があります。
- ・ 2DD タイプ (両面倍密度倍トラックタイプ)  
640K バイトの記憶容量があります。

本機の内蔵フロッピーディスク装置では、2HD  
と2DD のどちらでも使えます。フロッピーディ  
スク装置に挿入されたフロッピーディスクがどちら  
のタイプかは、本機が自動的に判断します。

また、ソフトウェアディップスイッチ SW3-1,  
2 の設定 (P. 45 参照) を変更することで、どちら  
かのタイプ専用にすることもできます。



## フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクは入力したデータを記憶しておくとても大切なものです。また構造的にも非

常にデリケートにできているので、以下のことに注意して、大切に取扱ってください。

取扱いおよびラベル記入上のご注意

<p>・ラベルを確認しよう</p> 	<p>・折れ、曲げに注意</p> 	<p>・磁界を避ける(特にAV機器)</p> 
<p>・ほこりを避ける</p> 	<p>・直射日光、高温、高湿を避ける</p> 	<p>・フロッピーの磁気面にさわらない</p> 
<p>・LEDが消えてから取り出す</p> 	<p>・使用後は収納箱へ</p> 	<p>・先に記入したラベルを貼る</p> 
<p>・油性ペンで書かない</p> 	<p>・古いラベルをていねいにはがして新しいラベルを</p> 	<p>・鉛筆、ボールペン、消しゴムはダメ</p> 

## ライトプロテクト（書き込み禁止）について

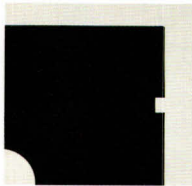
フロッピーディスクは保存している内容を誤って消すことがないように、ライトプロテクト（書き込み禁止）ができるようになっています。

ライトプロテクトされているフロッピーディスクは読み出しはできますが、フォーマットやファイルの消去ができなくなります。重要なファイルの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしておく習慣をつけましょう。

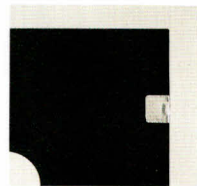
## 5インチフロッピーディスクの場合

フロッピーディスクに添付されている、ライトプロテクトシールを切り込みに貼ると、書き込み禁止になります。

書き込み可能



書き込み禁止



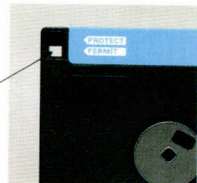
## 3.5インチフロッピーディスクの場合

ライトプロテクトノッチを、穴の開く方にずらすと、書き込み禁止になります。

書き込み可能



書き込み禁止



穴の開いた状態

## フォーマットについて

買って来たばかりのフロッピーディスクには、データを書き込むことはできません。データを書き込むには、フロッピーディスクを「フォーマット」しなければなりません。

### ●フォーマットとは

フロッピーディスクをデータを書き込むためのノートにたとえると、買って来たばかりのフロッピーディスクはまったくの白紙と同じことです。このままでは、どこにどのようなデータを書き込むのかわからないので、白紙に罫線を引いて書き込む場所を作る必要があります。この作業を「フォーマット」または「ディスクの初期化」と呼びます。



既にデータが入っているフロッピーディスクをフォーマットすると、データは全て消えてしまうので、注意してください。

### ●大切なデータは必ずバックアップしましょう

フロッピーディスクに保存しているデータを、別のフロッピーディスクにコピーしておくことを「バックアップ」といいます。

フロッピーディスクは非常にデリケートにできているので、なんらかの事故（ほこりが入ってしまったり、折れてしまったり…）によって保存しているデータが壊れてしまう場合があります。万に備えて、大切なデータは定期的にバックアップしておきましょう。



フォーマットやバックアップの方法は、添付品の「98トレーニングディスク」で学習できます（P.33参照）。

# 9 フロッピーディスクの入れ方/出し方



フロッピーディスクは、必ずラベル部分をもつように入してください。中のディスク部分を触ると、フロッピーディスクの内容が壊れてしまうことがあります。

## フロッピーディスクの入れ方

### ● PC-9801FX2, 5の場合 (5インチフロッピーディスク)

①添付の「98トレーニングディスク」(5インチサイズ)を、ラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベル側が手前になるように持ちます。

②フロッピーディスクを、フロッピーディスク装置1にカチッと音がするまで差し込みます。

③イジェクトボタンをゆっくり押します。  
フロッピーディスクがロックされ、イジェクトボタンがロックする前の半分ほど戻ります。



### ● PC-9801FX/U2./U5の場合 (3.5インチフロッピーディスク)

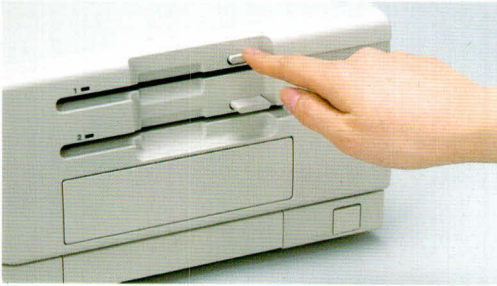
①添付の「98トレーニングディスク」(3.5インチサイズ)を、ラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベル側が手前になるように持ちます。

②フロッピーディスクを、フロッピーディスク装置1にカチッと音がするまで差し込みます。完全に差し込むと、イジェクトボタンが少しとび出します。



## フロッピーディスクの出し方

### ● PC-9801FX2, 5の場合 (5インチフロッピーディスク)



- ①フロッピーディスク装置1のアクセス表示用LEDが消灯していることを確認して、イジェクトボタンを押し、「カチッ」という音がしたらイジェクトボタンから手を離します。



- ②フロッピーディスクが少し出てくるので、引き出します。



フロッピーディスクは、必ずアクセス表示用LEDが消灯していることを確認して取り出すようにしてください。アクセス表示用LEDが点灯していたり点滅しているときに取り出すと、フロッピーディスクの内容が壊れてしまう場合があります。

### ● PC-9801FX/U2./U5の場合 (3.5インチフロッピーディスク)



- ①イジェクトボタンを押します。
- ②フロッピーディスクが少し出てくるので、引き出します。

# 10 ソフトウェアの起動と終了のしかた

実際に添付品の「98トレーニングディスク」を使って、ソフトウェアを起動してみましょう。「98トレーニングディスク」は、PC-9801FXの概要を対話形式で学習することができ、パソコン用語解説なども入っている便利なソフトウェアです。

## ①電源をONにする



電源スイッチを押して電源をONにします(P.26参照)。



電源は必ずフロッピーディスクを差し込む前にONにしてください。フロッピーディスクを差し込んでからONにすると、フロッピーディスクが壊れてしまうことがあります。

## ②フロッピーディスクをセットする



98トレーニングディスク実行中はフロッピーディスクを取り出さないでください。

フロッピーディスクをセットすると、フロッピーディスク装置アクセス表示用LEDが点灯して、「98トレーニングディスク」が自動的に起動します。

※98トレーニングディスクが起動せずにN88-BASIC(86)が起動した場合は、リセットボタンを押してください。

電源をONにしてすぐフロッピーディスクをセットすれば「98トレーニングディスク」が自動的に起動しますが、電源ON後しばらく時間をおいてセットすると、N88-BASIC(86)(P.26参照)が起動します。その場合には、リセットボタンを押せば、再び「ピポッ」という音がして「98トレーニングディスク」が起動します。

### ③98トレーニングディスクを終了する

98トレーニングディスクのプログラムを、画面の指示に従って終了します。

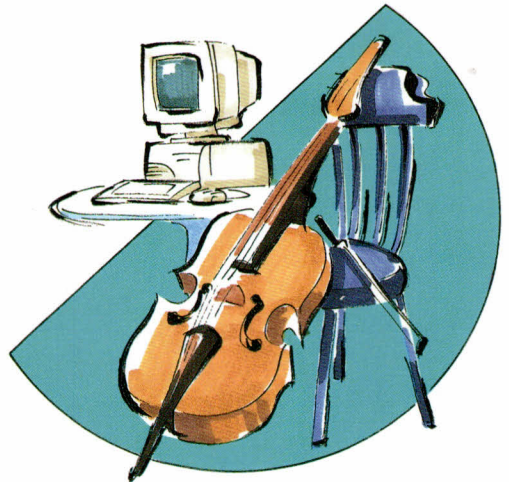
### ④フロッピーディスクを取り出す

### ⑤電源の OFF

電源スイッチを押して電源を OFF にします (P.27参照)。



電源は必ずフロッピーディスクを取り出してから OFF にするようにしてください。フロッピーディスクを差し込んだまま電源を OFF にすると、フロッピーディスクの内容が壊れてしまうことがあります。

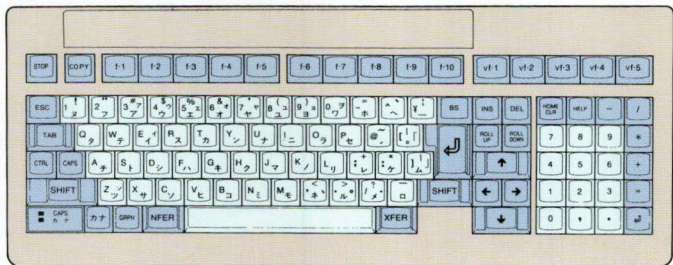


# 11 キーボードについて

キーボードは、パーソナルコンピュータに指示を与えるために、文字や数字、記号を入力する装置です。ここでは、各キーの名称と一般的な機能を説明します。

## キーの構成

キーは右のように二種類の色に分けられています。



### ●濃いグレーのキー

パーソナルコンピュータに直接指示を与えるためのキーです（指示の内容については、P.36～38をご覧ください）。

なお、このキーの働きはお使いになるアプリケーションソフトによって違ってきます。ここでは、日本語 MS-DOS (Ver5.0) (別売) の MS-DOS シェルでの主な働きについて説明します。



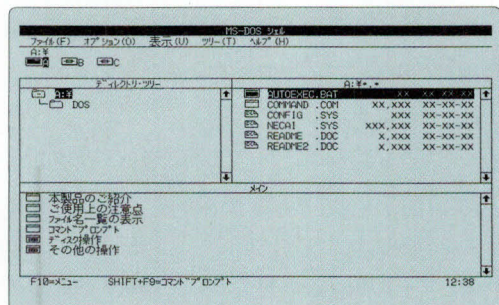
キーによってはここでは述べきれない別の機能を持つものがあります。それらについては、MS-DOS に添付されているマニュアルをご覧ください。

### ●薄いグレーのキー

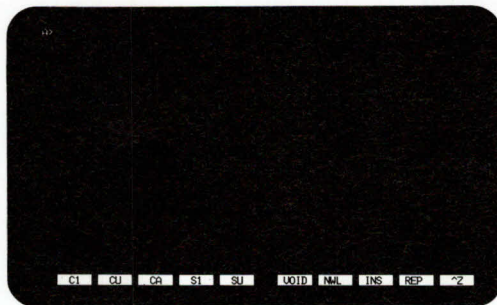
濃いグレーのキーと組み合わせて、英文字やカタカナ、記号などの文字を入力するキーです（文字入力の方法については、P.38～41をご覧ください）。



日本語 MS-DOS (Ver5.0) に詳しい使い方については、日本語 MS-DOS に添付されているマニュアルをご覧ください。

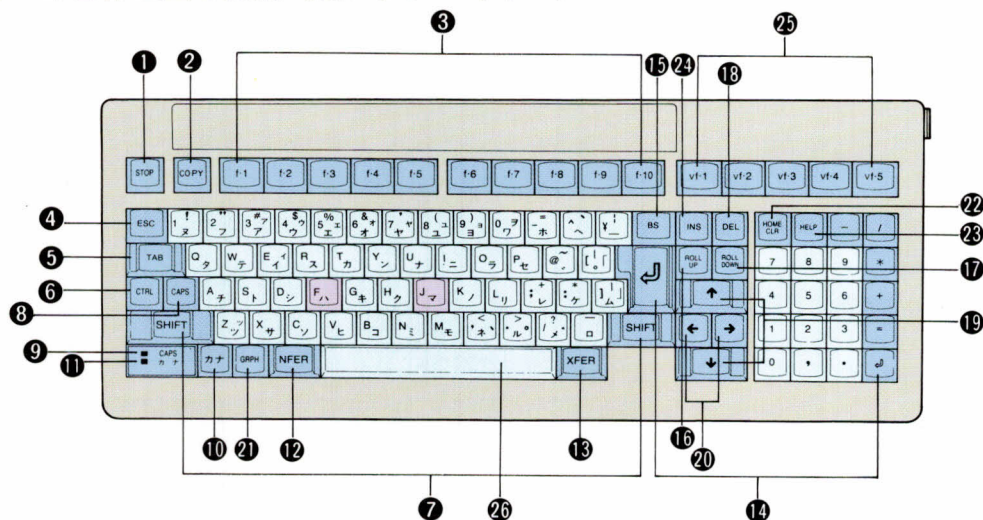


MS-DOS シェルの画面 [日本語 MS-DOS Ver5.0]



MS-DOS のコマンドプロンプト

## キーの名称と主な機能（濃いグレーのキー）



### ① STOP : ストップキー

作業途中でコマンド（命令）を中止するときに使います。

### ② COPY : コピーキー

コマンドプロンプトの画面を、そっくりプリンタで印刷（ハードコピー）するときに使います。

### ③ f.1 ~ f.10 : ファンクションキー

- f.1 MS-DOS シェルで押すと、ヘルプ画面を表示します。
- f.2 プログラムリストに表示されているプログラムをコピー（複写）します。
- f.3 MS-DOS シェルを終了して、コマンドプロンプトを表示します。
- f.4 GRPH と同時に押すと、f.3 と同じ機能をしします。
- f.5 SHIFT と同時に押すと、画面の再描画を行います（ファイルリストの更新は行いません）。  
ファイルリストの操作中に押すと、ファイルリストの最新表示を行います。また、CTRL と同時に押すと、カレントディレクトリのファイルリストを更新します。
- f.7 ファイルリストの操作中に押すと、選択

されているファイルを別のディレクトリに移動します。

- f.8 ファイルリストの操作中に押すと、選択されているファイルを別のディレクトリに複写します。
- f.9 ファイルリストの操作中に押すと、選択されているファイルの内容を表示します。また、ファイル内容が表示されている状態で押すと、表示方式を ASCII 表示から 16 進表示に切り替えます。  
SHIFT と同時に押すと、MS-DOS シェルを終了しないでコマンドプロンプトを表示します。この場合は、EXIT コマンドで MS-DOS シェルに戻れます。
- f.10 メニューバーの操作に移ります。

### ④ ESC : エスケープキー

現在実行中のコマンドや操作を取り消し、表示されたダイアログボックスやプルダウンを消します。

### ⑤ TAB : タブキー

MS-DOS シェルやダイアログボックスで、操作する領域を移動します。

SHIFT を押しながら押すと、逆の順で移動できます。

# 付録



# アフターケアについて

## ■ 保証書について

保証期間中万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづき無料修理いたします。くわしくは保証書をごらんください。

保証期間後の修理については、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

保証書はお買い上げいただいた販売店で、所定事項を記入のうえお受け取りになり、保管してください。

## ■ 保守サービスについて

保守サービスの実施は日本電気株式会社指定した保守サービス会社によってのみ行われますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心のうえ、ご都合にあわせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、お買い上げの販売店(Bit-INN、NECマイコンショップ等)で承っておりますのでご利用ください。

PCシリーズの保守サービスはお客様のニーズに合わせて4種類ご用意しております。

## ■ 契約保守

年間一定料金で契約を結び、サービスマンを派遣するシステムです。



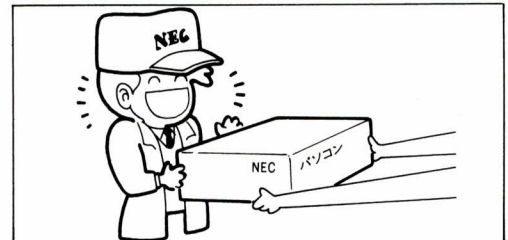
## ■ 出張修理(スポット保守)

サービスマンを派遣し、料金はその都度お支払いいただくシステムです。



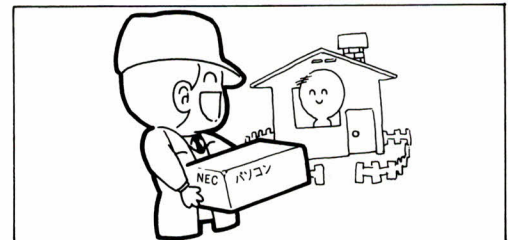
## ■ 持込修理

お客様に修理品をサービス窓口にお持込みいただくシステムです。



## ■ 引取修理

修理品を引き取りにうかがい、修理後お届けするシステムです。



種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対し、お客さまのもとにサービスマンを派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いいただくため、一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能となります。	機器構成に応じた 年間一定料金		年間一括前払い	お買上げ販売店 NEC商品サービス(株) NEC Bit-INN NECマイコンショップ
出張修理 (スポット保守)	ご契約は一切不要ですが、修理のご依頼に対しサービスマンを随時派遣して修理を行います。(原則としてその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もございますのでご了承ください。)	出張料のみ (出張修理対象品は無料)	修理料 + 出張料	修理完了後その都度精算	
持込修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。 お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口にて修理品をお持込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		
引取修理	お客様のご都合で修理品をお持込みいただけない場合、修理のご依頼に対し、最寄りのサービス拠点より修理品を引き取りにうかがい、修理完了後お届けいたします。	引取/返却料のみ	修理料 + 引取/返却料		

# 故障かな?と思ったときは

本体使用中に“故障かな?”と思われる症状が起きたら、まず、この表を参考にチェックしてみてください。もし、この表に無いような症状が起こったり、「対策」を行っても症状が消えない場合は、お買い求めの販売店や最寄りのBit-INNまたはNECマイコンショップにご相談ください。

症 状	原 因	対 策
電源をONにしても電源表示用LEDが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電源ケーブルが正しく接続されていない。</li> <li>②電源ケーブルが断線している。</li> <li>③電源表示用LEDが切れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電源ケーブルを正しく接続してください。</li> <li>②, ③お買い求めになった販売店にご相談ください。</li> </ul>
電源をONにしてもビポッという音がしない。または、ピーと音がしてエラーメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①接続が正しくない。</li> <li>②ディップスイッチの設定が正しくない。</li> <li>③自己診断プログラムによるハードウェアチェックの結果、本体に異常がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①もう一度接続の確認をして、再起動します。</li> <li>②ディップスイッチの設定を確認します (P.42参照)。</li> <li>③お買い求めになった販売店にご相談ください。なお、以下が本体異常時に表示されるメッセージです。</li> </ul> <p>TEXT VIDEORAM ERROR            KANJI CGRAM ERROR            MEMORY SWITCH ERROR            GRAPH VIDEORAM ERROR            MEMORY ERROR XXXXX XXXX(注)            PARITY ERROR XXXXXX            TIMER ERROR            DMA ERROR            TIMER INTERPUT ERROR            PROTECTED MODE ERROR            PARITY ERROR-BASE MEMORY            PARITY ERROR-EXTENDED            MEMORY            SYSTEM SHUTDOWN            ADDRESS 20 LINE ERROR            ROM SUM ERROR</p> <p>(注) メッセージを表示後、故障検出箇所を含むメモリを128Kバイト単位でシステムから切り離し、処理を実行します。</p>

症 状	原 因	対 策
電源をONにすると、MEMORY ERROR 080000 FEFEと表示される。	①メモリスイッチ3はメモリサイズ640Kバイトに設定しているが、ソフトウェアディップスイッチのSW3-6がON（512Kバイトの指定）になっている。	①ソフトウェアディップスイッチのSW3-6をOFF（640Kバイトの指定）にしてください。RAMを512Kバイトで使用する場合は、メモリスイッチを512Kバイトに設定し直します（ソフトウェアディップスイッチSW3-6をON）。
メモリ容量が既定値（640Kバイト）に達しない。	①メモリスイッチの容量設定が違っている。	①メモリスイッチを640Kバイトに設定し直します。
フロッピーディスク装置が動かない。	①イジェクトボタンが押し込まれていない（PC-9801FX2,5）。 ②フロッピーディスクが奥まで入っていない（PC-9801FX/U2,/U5）。 ③フロッピーディスクを入れる方向が間違っている。	①イジェクトボタンを押し込んでください。 ②フロッピーディスクを奥まで入れてください。 ③ラベルの貼られた方を手前向きにし、挿入し直してください。
システムが起動しない。	①PC-9801FX用のシステムディスクではない。 ②メモリスイッチの内容が壊れている。 ③フロッピーディスク装置が壊れている。	①PC-9801FX用のシステムディスクを入れ直してください。 ②ハードウェアディップスイッチのNo.3をOFF（上側）にして、再度システムを起動し直してください（P.42参照）。 ③本体添付の98トレーニングディスクをセットして起動しない場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。
ディスプレイに何も表示しない。	①ディスプレイの電源が入っていない。 ②ディスプレイと本体が接続されていない。 ③ディスプレイのブライトとコントラスト調整ツマミの調整が適切でない。	①ディスプレイの電源を入れてください。 ②ディスプレイと本体を正しく接続してください。 ③それぞれの調整ツマミを回してみてください。
表示された文字が読み取りにくい。	①ハードウェアディップスイッチの設定が正しくない。 ②AV機器など、ディスプレイの近くに強力な磁気を発生する電気機器がある。	①使用しているディスプレイに合わせて設定し直して下さい（P.42参照）。 ②強力な磁気を発生する電気機器の電源を切るか遠ざけます。

症 状	原 因	対 策
フロッピーディスクが読み込めない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①フロッピーディスクが正しくセットされていない。</li> <li>②フォーマット形式の異なる他のOS用のフロッピーディスクがセットされている。</li> <li>③初期化されていない新品のフロッピーディスクがセットされている。</li> <li>④フロッピーディスクの内容が壊れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①フロッピーディスクを正しくセットし直します。</li> <li>②正しいフロッピーディスクをセットし直します。</li> <li>③初期化したフロッピーディスクを使います。</li> <li>④復旧は困難です。フロッピーディスクの内容が壊れてしまうケースに備えて、バックアップを作っておくようにしましょう。</li> </ul>
フロッピーディスクの読み込みはできて、書き込みが全くとできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ライトプロテクトシールが貼ってある (PC-9801FX2,5)。</li> <li>②ライトプロテクトノッチがPROTECTになっている (PC-9801FX/U2,/U5)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ライトプロテクトシールをはがします。</li> <li>②ライトプロテクトノッチをPERMITの方にします。ただし、システムディスクなど大切なフロッピーディスクの場合は、本当に書き込みをしてよいか、もう一度確認しましょう。</li> </ul>
固定ディスクドライブを初期化できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ソフトウェアディップスイッチのSW2-6がON (内蔵固定ディスク切り離しの状態) になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ソフトウェアディップスイッチのSW2-6をOFFに変更してください。</li> </ul>
メモリスイッチが変更できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ハードウェアディップスイッチのNo.3がOFFのままになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①メモリスイッチの内容を変更したときは、必ずハードウェアディップスイッチのNo.3をONにしてください。</li> </ul>
キーボードから何も入力できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①キーボードが正しく接続されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①キーボードを正しく接続します。</li> </ul>
使用中に突然キーの入力を受け付けなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①プログラムが暴走している。</li> <li>②プリンタを接続していないかオンラインにしている状態で、プリンタへの出力命令を出したり、<b>COPY</b>を押してしまった (コンピュータがプリンタから戻ってくるはずの信号を待ち続けている状態)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①リセットスイッチを押して、再起動してください (リセットスイッチを押すと、それまでに入力した内容は消えてしまいます)。</li> <li>②プリンタをオンライン状態にするか、<b>STOP</b>を押してしばらく待つと回復します。</li> </ul>

症 状	原 因	対 策
<p>文書やプログラムを作成中、誤って電源を切ってしまった。</p>		<p>作成途中の文書やプログラムなど、フロッピディスクに保存しておかなかったものは、電源を切ると全て消えてしまいます（リセットスイッチを押したときも同様です）。</p> <p>万一のアクシデントに備えて、長い文書やプログラムなどは、作成途中で保存しておくようにしましょう。</p>
<p>表示される日付と時刻が正しくない。</p>	<p>① なんらかの操作ミスにより、日付や時刻を記憶していたメモリの内容が変わってしまった。あるいはもともと設定されていない。</p>	<p>① N<sub>88</sub>-BASIC (86) のTIME\$やDATE\$コマンドなどにより、日付や時刻を設定し直します（N<sub>88</sub>-BASIC (86) ガイド参照）。</p> <p>本体内蔵のカレンダー時計は、電源をOFFにしても動いていますが、購入時または長い間（約2カ月）本体の電源をONにしない場合は、再設定してください。</p>
<p>音がでない。または音が大きすぎる。</p>	<p>① 音量調節のボリュームが合っていない。</p>	<p>① ディップスイッチケースのカバーを開け、内蔵スピーカボリュームのつまみを回して適当な音量に調整してください。N<sub>88</sub>-BASIC (86) を起動して <b>[CTRL]</b> を押しながら <b>[G]</b> を押すと、音を確認できます。</p>
<p>プリンタが動かない。プリンタから意味不明の文字が印字される。</p>	<p>① 接続ケーブルが外れたり、接触不良を起こしている。</p> <p>② PC-9801FXで使用できないプリンタが接続されている。</p>	<p>① プリンタ用ケーブルを確実に接続してください。</p> <p>② PC-9801FXで使用できるプリンタ（セントロニクス社仕様準拠）に交換してください。</p>

# 索引

## 英数

2DD	28
2HD	28
3.5インチ固定ディスクドライブ	54
3.5インチ固定ディスクドライブ アクセス表示用 LED	14
3.5インチフロッピディスク装置	15
5インチフロッピディスク装置	15
98トレーニングディスク	10, 30, 33
AC電源コネクタ (出力)	16, 21, 22, 23
CAD/CAM	47
CD-ROM ユニット	61
CPU	60
DMA チャネル	57, 66
EMS	45
GUI	49
I/O 拡張ユニット	64
MS-DOS シェル	35
N <sub>88</sub> -BASIC(86)	26
N <sub>88</sub> -日本語 BASIC(86)	46, 57, 60
OS	48, 49
PC-UX/V	57
ROM アドレス空間	66
RS-232C	46
RS-232C コネクタ	17
SCSI ID NO.	57
SCSI インタフェーススロット	17, 55
SCSI インタフェース対応機器	24, 57, 61
SCSI インタフェースボード	14, 17, 54, 55
SCSI インタフェースボードの ディップスイッチ	56
SCSI コネクタ	17

## あ

アース線	10, 19
アース端子	16
アナログ RGB 出力コネクタ	16
アナログ RGB 入力対応ディスプレイ	21
アナログディスプレイ	19
アプリケーションソフト	47

イジェクトボタン	15, 25, 31, 32
イメージスキャナ	49
オーディオ出力端子	17
オートリPEAT	39
お客様登録カード	11
オプション機器	49

## か

外部オーディオ機器	19, 23
書き込み禁止	30
拡張用スロット	17
カラープロッタプリンタ	50
キーボード	10, 18, 20, 35
キーボード用コネクタ	14
教育用ソフト	48
業種パッケージ	48
業務パッケージ	48
空冷用ファン	17
グラフィックソフト	47
グリーンティングカード	11
クロック切り替えスイッチ	15, 45
ケーブルラベル	10
固定ディスク専用スロット	54

## さ

サービス網一覧表	11
サウンド BIOS	45, 66
サウンド機能	45, 66
システムセットアップメニュー	43
終端 BOX	11, 24, 55, 61
周辺機器	18, 26
シリアルプリンタ	50
数値データプロセッサ	60
スーパーインポーズボード	65
スキップセクタ	57
セントロニクス社仕様	17
増設 RAM サブボード	51, 53
増設 RAM ボード	51, 52, 53
増設 RAM ボードカバー	51, 52, 53, 60
増設フロッピディスク装置用コネクタ	17
外付用 SCSI インタフェース対応機器	57, 61

ソフトウェアディップスイッチ	43
ソフトウェアディップスイッチの機能一覧	44
ソフトウェアの起動	33

## た

ディップスイッチ	42
ディップスイッチケース	15
データベースソフト	47
デジタル RGB 出力コネクタ	17
デジタル RGB 入力対応ディスプレイ	22
デジタルディスプレイ	19
電源	19
電源ケーブル	10
電源コネクタ (入力)	16
電源スイッチ	14
電源の OFF	27
電源の ON	26
電源表示用 LED	14
動作スピード	14, 15
ドットインパクトプリンタ	50

## な

内蔵スピーカーボリューム	15
日本語 MS OS/2	57
日本語 MS-DOS	35, 57
日本語 MS-WINDOWS	49
日本語入力モード	38
熱転写プリンタ	50

## は

ハードウェアディップスイッチ	15, 42, 44, 45
ハードウェアディップスイッチの機能一覧	42
バックアップ	30
光ディスクユニット	61
表計算ソフト	47
ファイルスロット	15, 58
ファイルスロットカバー	15, 59
フォーマット	30
プリンタ	23, 50
プリンタ用コネクタ	17
フルカラーイメージプリンタ	50
フロッピーディスク	28, 31

フロッピーディスク装置	
アクセス表示用 LED	15
フロッピーディスクの種類	28
フロッピーディスクの取り扱いについて	29
フロントマスク	15, 51
ページプリンタ	50
ホームポジション	39
保護シート	25
保守サービス	68
保証書	11, 68

## ま

マウス	14, 18, 20, 49
マウス用コネクタ	14
メモリーカードリーダー/ライタドライブ	58
メモリースイッチ	46
メモリー専用スロット	52
モノクロディスプレイ	22

## ら

ライトプロテクト	30
ライトプロテクトシール	30
ライトプロテクトノッチ	30
リセットスイッチ	15
ロールオーバー機能	39

## わ

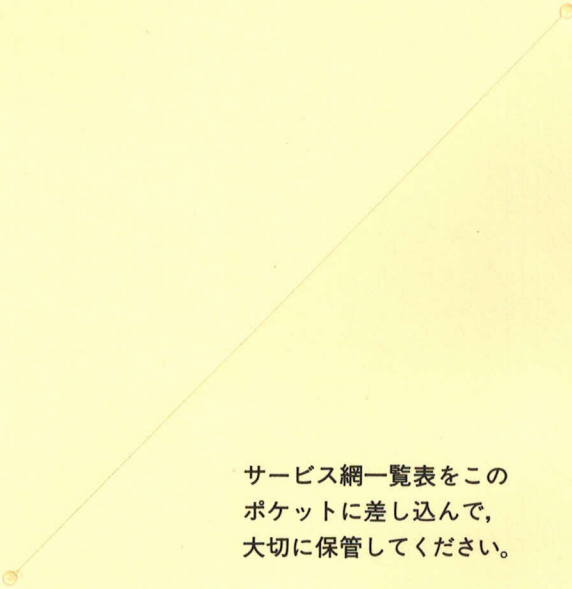
ワープロソフト	47
割り込みレベル	56, 66

# PC-9801FX機能仕様

		PC-9801FX2, /U2	PC-9801FX5, /U5
CPU		i386™SXクロック約12MHz, 386SX-10MHz相当モード, V30-8MHz相当モードあり	
ROM		BIOSおよびN <sub>86</sub> -BASIC (86) 96KB	
メモリ		ユーザーズメモリ 1.6MB (最大14.6MB内蔵可) 専用増設メモリボードPC-9801FX-01使用により2MB-13MB増設可能 テキスト用VRAM 12KB グラフィック用VRAM 256KB	
表示	テキスト表示	80文字×25行, 80文字×20行 40文字×25行, 40文字×20行 いずれか選択 リバース, プリント, シークレット (キャラクタ単位に指定可) カラー8色 (キャラクタ単位に指定可)	
	グラフ表示	640×200ドット (モノクロ16画面, カラー4画面) 640×400ドット (モノクロ8画面, カラー2画面) カラー8色 (デジタルRGBディスプレイ使用時) 4096色中16色 (アナログRGBディスプレイ使用時)	
	日本語表示	JIS第1水準, 第2水準漢字ROM標準装備 JIS第1水準漢字 2,965字 JIS第2水準漢字 3,384字 非漢字 885種 ユーザー定義文字 188種	
	ビデオ出力	コンポジットビデオ信号出力 (輝度変調, モノクロ) RGBセパレート信号出力 (TTLインタフェース, カラー) アナログRGBセパレート信号出力 (75Ωアナログインタフェース, カラー)	
キーボード		JIS標準配列準拠 テンキー, コントロールキー, 15ファンクションキー, HELP, COPY, BS, INS, DEL, XFER, NFERキー-CAPSおよびカナのロックはソフトウェアで制御可 セパレートタイプ (本体とケーブルにより接続)	
フロッピーディスク		PC-9801FX2, 5: 5インチフロッピーディスクドライブ2ドライブ内蔵 PC-9801FX/U2, /U5: 3.5インチフロッピーディスクドライブ2ドライブ内蔵 増設ユニット用インタフェース内蔵	
3.5インチ固定ディスク		PC-9801FA-35/37/39いずれか1台内蔵可能 内蔵時にはSCSIインタフェースボードPC-9801 FA-02が必要	40MBタイプ1ドライブ内蔵 SCSIインタフェース内蔵
マウスインタフェース		内蔵	
プリンタインタフェース		8ビットパラレルインタフェース (セントロニクス社仕様に準拠)	
シリアルインタフェース		RS-232C規格に準拠	
サウンド機能		FM音源3和音 SSG音源3和音 オーディオ出力端子付	
カレンダー時計		電池によるバックアップ	
スピーカ		内蔵	
拡張スロット		4スロット	
ファイルスロット		1スロット 3.5" FDD, 40/100/300 SCSI固定ディスク, 3.5" 光ディスク, CD-ROM, メモリカードリーダー/ライターいずれか1台内蔵可能 (SCSIインタフェース対応機器増設時, PC-9801FX2, /U2では専用SCSIインタフェースボードPC-9801FA-02が必要)	
電源		AC100V 10%, 50/60MHz	
温湿度条件		10~35°C, 20~80% (ただし結露しないこと)	
外形寸法		本体 380(W)×335(D)×150(H)mm キーボード 435(W)×180(D)×34(H)mm	
重量		PC-9801FX2本体 : 9.4kg PC-9801FX/U2本体 : 8.6kg キーボード : 1.2kg	PC-9801FX5本体 : 10.4kg PC-9801FX/U5本体 : 9.6kg
消費電力		PC-9801FX2 : 25W (最大175W) PC-9801FX/U2 : 25W (最大175W)	PC-9801FX5 : 35W (最大175W) PC-9801FX/U5 : 35W (最大175W)







サービス網一覧表をこの  
ポケットに差し込んで、  
大切に保管してください。

**NEC**

